

ヨーゼフ・ボイス

- 1921年 5月12日ドイツ北西部のクレーフェルトに生まれる
オランダ国境に近い田園地帯の街クレーヴェで自然に囲まれて育つ
シュヴァーネンブルクの白鳥伝説に影響を受け、後のモチーフにも見られる
芸術に触れる機会は多かったが、医学の道を進もうと考えていた
- 1936年 この前後にヒトラー・ユーゲントに加入
焚書される中にあるヴィルヘルム・レームブルックの図版に強い衝撃を受ける
- 1939年 サーカスでパートとして働き、身支度や動物の世話を行う
- 1940年 北方や東方の神話、自然科学などをテーマにデッサンを描き始める
ドイツ空軍に志願
ハインツ・ジールマンによる訓練を受けた後、東部戦線に参加
- 1944年 5月16日、クリミア半島上空でソ連軍によって撃墜される
(この時、ステップでタタール人に救助されたという確証のない逸話がある)
野戦病院にて2週間の療養後、西部戦線に空挺団として復帰、勲章を受ける
- 1945年 戦争末期にイギリス軍の捕虜になり、この年の8月に故郷に帰った
シュタイナーの人智学を研究し、水彩画やドローイングを描き始める
- 1947年 デュッセルドルフに移り、デュッセルドルフ芸術アカデミーで芸術の勉強を開始
- 1961年 デュッセルドルフ芸術アカデミーの彫刻科教授になる
- 1972年 アカデミーとの主張の対立により解雇
- 1978年 アカデミーを訴えていた件に勝訴
教室の使用を許可され、主宰する自由国際大学のオフィスとした
ゲルハルト・リヒターをはじめ現代ドイツ美術を支える画家たちを輩出していく
- 1962年 短期間ではあるがフルクサスのメンバーとなる
美術、音楽、文学など多くの芸術分野にまたがるイベント制作に関与する
- 脂肪やフェルトの代表的な作品を制作
「脂肪のコーナー」1968年ほか
「フェルト・スーツ」1970年
- 1972年 急速に社会的、政治的活動を活発化させる
ドクメンタ5で「直接民主主義組織のための100日間情報センター」を開設
- 1974年 アカデミーを放逐されたのを機に自由国際大学を開設
社会改革のための作業の情報センターとする
- 1976年 連邦議会選挙に立候補、落選
- 1979年 グッゲンハイム美術館で大回顧展
- 1982年 現代美術展ドクメンタ7で、7,000本の樫の木を植えるというプロジェクトを始動
- 1983年 西ドイツに核ミサイルが持ち込まれたことを受け、反核運動の先頭に立つ
- 1986年 1月23日、死去